

## 第1回（2011年）

### 優秀賞

演題) 表面プラズモンを用いた細胞表面EGFレセプターへの親和性評価  
受賞者) 薬品化学分野 水口 貴章（薬学専攻博士後期課程2年次生）  
共同研究者) 水口 貴章<sup>1</sup>、内村 浩正<sup>2</sup>、木曾 良明<sup>3</sup>、齋藤 一樹<sup>4</sup>、赤路 健一<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>京都薬大、<sup>2</sup>京都大、<sup>3</sup>長浜バイオ大、<sup>4</sup>東京大)

## 第2回（2012年）

### 優秀賞

演題) エリスロポイエチンは糖尿病ラットの大動脈における内皮機能低下と炎症反応を軽減する  
受賞者) 臨床薬理学分野 王 佳虹（薬学専攻博士後期課程3年次生）  
共同研究者) 王 佳虹、鳥羽 裕恵、野田 和揮、田 維、小原 幸、中田 徹男

## 第3回（2013年）

### 最優秀賞

演題) メタボリックシンドローム治療を目指したレジスタンの脂肪細胞における生理作用の解明  
受賞者) 薬品物理化学分野 池田 義人（薬学専攻博士後期課程3年次生）  
共同研究者) 池田 義人、小暮 健太朗

## 第4回（2014年）

### 優秀賞

演題) 神経膠芽腫細胞を用いたがん幹細胞と非幹細胞性がん細胞におけるイオン輸送体関連分子の発現量比較  
受賞者) 病態生理学分野 高田 哲也（薬学専攻博士課程3年次生）  
共同研究者) 高田 哲也、高田 和幸、北村 佳久、芦原 英司

## 第5回（2015年）

### 優秀賞

演題) キンモクセイ花部の含有成分の探索及びその誘導体の抗炎症作用  
受賞者) 生薬学分野 深谷 匡（薬学専攻博士課程1年次生）  
共同研究者) 深谷 匡、松田 久司

演題) 染色体分配制御機構におけるHsp105の機能解析  
受賞者) 生化学分野 柿花 采那（薬学専攻博士課程1年次生）  
共同研究者) 柿花 采那、久家 貴寿、齋藤 洋平、中山 祐治

## 第6回（2016年）

### 優秀賞

演題) アルツハイマー病のアミロイド $\beta$ オリゴマー仮説に根差した *in vitro* 細胞死モデルを用いた薬物スクリーニング系の構築  
受賞者) 病態生理学分野 綿榎 充穂（薬学部5年次生）  
共同研究者) 綿榎 充穂、高田 和幸、黒田 絵莉子、平島 七海、戸田 侑紀、芦原 英司

## 第7回（2017年）

### 最優秀賞

演題) マウス末梢血造血幹細胞からミクログリア様細胞への分化誘導法の構築と  
その機能解析  
受賞者) 病態生理学分野 黒田 絵莉子（博士課程2年次生）  
共同研究者) 黒田 絵莉子、高田 和幸、河西 翔平、戸田 侑紀、芦原 英司

### 優秀賞

演題) ショウガ主要成分 [6]-gingerol の絶対立体配置の確認および誘導体の抗炎症作用  
受賞者) 生薬学分野 笠 香織（博士課程1年次生）  
共同研究者) 笠 香織、中村 誠宏、中嶋 聰一、松田 久司